

北軽井沢の山荘裏庭に設置してある「フクロウ用の巣箱」に、またムササビが入ってきました。フクロウとムササビは同じような環境を好み、共に樹木の穴で子育てをする「樹洞性営巣」という習性です。しかし現在北軽井沢の森では、シジュウカラやヤマガラ営巣に適した巣穴はある程度豊富ですが、中型の哺乳類や猛禽類に適した樹洞は少ないのです。要は彼らにとっては「慢性的な住宅難」で、この巣箱も毎年フクロウとムササビの争奪戦になっているのです。

ムササビの繁殖期は冬と夏で、フクロウは早春から春です。今の時期はムササビが入る確率が高いのですが、今回のムササビは一日だけ「昼寝」をしにきただけだったようです。「デイサービス」のムササビだったわけですね。前回のムササビ営巣時には、巣箱の底が抜けて、子ムササビが2匹とも地面に落ちてしまいました。その後床を完璧に補強したので、いつ営巣してくれても大丈夫ですよ！

(2025年1月下旬／北軽井沢／東京から遠隔観測)

